

みんなの町議会



目次

- 議長・副議長就任挨拶、臨時会の概要 … 2
- 各常任委員会の構成 …… 3
- 3月定例会の概要 …… 4
- 一般質問に5名登壇 …… 5～9
- 常任委員会の焦点 …… 10～12
- 特集「湖東病院改築計画」 …… 13
- 請願・陳情・意見書送付 …… 14
- あれ なんとになったべが！ …… 15
- 「いちび」をたずねて・がんばってます … 16

No.110
2012年5月1日

五城目小学校入学式

まちづくりを目指して

構成が決まる

第2回
臨時会
4月4日

臨時会の概要

4月4日午前10時より改選後初の臨時会が開かれた。

新人議員5名の入場の緊張感あふれる姿には、新風の息吹が見うけられた。

議事日程に従い正副議長の選出から始まり、単記無記名投票となった。

議長選は、小林正志氏12票、澤田石亀雄氏4票となり、小林正志氏が議長に当選した。

副議長選は、荒川達雄氏8票、石川交三氏6票、無効2票で荒川達雄氏が当選した。

その後各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会の委員を選出し、正副委員長を互選した。

八郎湖周辺清掃事務組合議員には、澤田石亀雄氏と館岡隆氏を選出。

当局提案の監査委員は佐藤重信氏に同意した。



議長
小林 正志

低気圧が襲来した4月4日、改選後の初議会で同志、同僚議員の温かいご支援・ご支持により、不肖私が議長の大任に就任したことは、身に余る光栄と存じており、身を挺して報いる覚悟を新たにしております。

不偏不党、公正無私を旨とし、言論の府の議会が円滑に運営されるよう誠心誠意努力する所存です。

町当局とはいたずらな摩擦は避け、安易な妥協を許さず、多様化する住民ニーズに応えるよう、当局と議会が一体となり、町の発展と住民福祉の向上を目指して職責をまっとうする覚悟で臨みますので、各位のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



副議長
荒川 達雄

この度は副議長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。小林正志議長を補佐し議会本来の役割を果たすべく努力したいと存じます。

新人議員が5名加わり平均年齢が62・3才となり6才程若くなりました。ベテラン議

員から中堅、新人議員とバランスの取れた構成になったようです。少子高齢化時代の中で将来わが町がどう進み、どこに根を下ろすか、また議会がどんな改革を目指し、どう町民に訴えるのか、町民の視線は大変厳しいものがあると考えます。開かれた議会、改革を恐れず、どんどん前に進んでいきたいと考えます。今後共よろしくお願い申し上げます。



監査委員には
佐藤 重信氏
に同意した

(佐々木仁茂)



新人議員の入場

活力ある元気な 新しい議会

行政一般、文書及び条例、規則、職員の福利厚生、町有財産の管理、協働のまちづくり、企業誘致、町税、固定資産に関する事、議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情の審査を行うこと。他の所管に属さないこと。

総務 常任委員会

- 総務課
- まちづくり課
- 税務課
- 出納室
- 議会事務局



副委員長
石井 光雅



委員長
石川 交三



委員
斎藤 晋



委員
荒川 正己



委員
千田 峯夫



委員
佐藤 成孝



副委員長
佐藤 慶彦



委員長
館岡 隆



委員
畑澤 洋子



委員
荒川 達雄

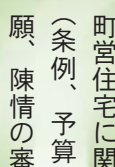


委員
工藤 卓美

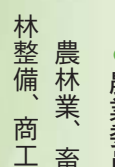
戸籍及び住民の異動、国民年金、交通安全、防犯、消防及び防災、環境保全、衛生及び公害、社会福祉、学校教育、公民館、保育園に関する事。議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情の審査を行うこと。

- 住民生活課
- 健康福祉課
- 教育委員会
- 消防本部

教育民生 常任委員会



副委員長
佐々木 仁茂



委員長
伊藤 正春



委員
佐藤 重信

農林業、畜産、水産、農山林整備、商工業、観光、労働、特産品、道路、河川及び橋梁、都市計画、公園及び下水道、町営住宅に関する事。議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情の審査を行うこと。

- 農林振興課
- 商工振興課
- 建設課
- 農業委員会

産業建設 常任委員会



委員
小林 正志



委員
澤田 石龜雄



委員
伊藤 正春

副委員長

委員長

議会運営委員会

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例
- 議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情の審査を行うこと。
- 議長の諮問に関する事項
- その他、議会運営に関する事項

委員長 工藤 卓美
副委員長 斎藤 晋

委員 千田 峯夫
委員 館岡 隆
委員 石井 光雅
委員 石川 交三
委員 斎藤 晋
委員 畑澤 洋子
委員 佐藤 慶彦
委員 佐藤 重信

議会広報編集委員会

- 住民と議会との意思疎通を図り、相互の信頼を培う。
- 町民にとって分かりやすく親しみやすい広報づくりに徹する。

委員長 佐々木 仁茂
副委員長 畑澤 洋子

委員 石川 交三
委員 伊藤 正春
委員 佐藤 慶彦
委員 石井 光雅
委員 斎藤 晋

八郎湖周辺清掃事務組合

議員 澤田 石龜雄
議員 館岡 隆

(石井 光雅)

町民の福祉向上に

当初
予算

50億3千500万円

【前年度比】0.2%減

3月 定例会

議会の概要

3月定例会は3月2日から9日まで
の8日間の日程で開催された。

一般質問は5人が登壇しボランティア
アの育成、後発医薬品で医療費抑制、
少子化と子育て支援、県道秋田八郎潟
線、総合発展計画など町政の諸課題に
ついて当局に質した。

提出案件は平成24年度一般会計当初
予算案、平成23年度一般会計補正予算
案、総合発展計画基本構想について、
介護保険条例の一部を改正する条例制
定案など34件。

渡邊町長は施政方針で、「さまざま
な行政需要に対して、より効率的な予
算編成に努め、インフラ整備や公共施
設の耐震化などに取り組む」とし、
「総合発展計画を基本に必要性、緊急
性、事業効果などを検証し、財政の健
全化に努めた。」と述べた。

各常任委員会の審査を行い、最終日
は各委員長報告の後、全議案を全会一
致で可決した。

陳情は3件を採択、1件を不採択、
4件を継続審査とした。

追加提案された議員提出議案「最低
賃金的大幅引き上げと、中小零細企業
支援の拡充を求める」意見書など3件
を可決して閉会した。

平成23年度一般会計補正予算は2
千504万8千円の追加。専決処分
した除雪費3千260万円を含め累
計54億9千141万円。



3月定例会

平成24年度の主な事業

- 地方道路整備交付金事業
..... 5千794万円
- 町民センター耐震補強工事費
..... 3千976万円
- 地域おこし協力隊事業費
..... 350万円
- 地域公共交通対策事業
..... 1千575万円
- 緊急雇用創出臨時対策基金事業
..... 6千620万円
など

介護保険料

5千900円に改正

介護保険料は3年ごとに見直しを
することになっており基準月額4千
920円から第5期介護計画では高
齢化率・要介護認定率の進展により、

介護給付費が増えることから4月か
ら5千900円に増額となる。
介護保険料を第1号保険者（65歳
以上）に負担をお願いすることは厳
しい状況であり、一般会計から不足
額を繰り入れして高齢者の負担軽減
に努めた。

小学校卒業までの 医療費無料化

未就学児、ひとり親家庭で18歳ま
での子ども、身障者の方に福祉医療
費受給者証を交付して自己負担分を
全額助成していたが、所得制限によ
り未交付の子どもは27人いた。
子育て支援として8月からは福祉
医療費受給者証の更新と合わせて所
得制限を撤廃して小学校卒業まで完
全無料化になる。

地方自治功労者表彰

【全国町村議会議長会表彰】
2月9日、長年にわた
り地方自治の振興に貢献
された功績により表彰さ
れた。

館岡 幸雄氏
石井 章司氏
伊藤 英紀氏

【県町村議会議長会表彰】
2月24日、地方自治功
労者として県町村議会議
長会より表彰された。

工藤 卓美氏
石川 交三氏
荒川 達雄氏
大石 フサ氏
佐々木 鉄美氏

(伊藤 正春)

ボランティアの 育成を図れ！

あなたにかわって
聞きました

一般質問

町長

公民館事業のカリキュラムに取り入れ
ボランティアの育成を図る。



被災地で働くボランティア



伊藤 英紀
(森盛会)

伊藤 大震災の発生や高齢化社会の到来によりボランティアの必要性が高まっていることから、本町においても育成対策を講ずるべきではないか。

町長 被災地の現状を見て、ボランティアの活動されている姿を目の当たりにし、強く心を打たれた。また、高齢者や乳幼児などに対する福祉ボランティアの必要性が高まっていることから、専門機関と連携を図り、公民館事業のカリキュラムに取り入れるなどして、ボランティアの育成を図る。

町のギネスブック作成を

伊藤 我が町のナンバーワンを募集し、ギネスブックを作り、面白い話題の提供を。

町長 町のさまざまなナンバーワンを集める五城目版ギネスブックの作成は、大変ユニークなまちづくりの取り組みであり、明るく、元気なまちづくりの手法の一つとして、波及効果は大変大きいと思うので、参考にした。



フル可動した除雪車

除雪対策は万全か

伊藤 町なかでは雪を捨てる場所が無く困っている家庭が多くある。私有地の空き地も含めて、町有地空き地を雪捨て場所に有効活用すべきと思うがどうか。

町長 町なかの空き地となっている町有地は最優先で活用すべきと考えている。私有地についても冬期間の雪押し場所として借りている。町有地、私有地を問わず空き地を最大限利用し、万全の除雪を行っている。

五城目町総合発展 基本構想を問う

伊藤 「人とまちが響き合う」ところやすらぐ悠紀の郷「五城目」と6項目の基本目標は何かもの足りない。強いメッセージが伝わってこない。五城目町をこういう町にしたいという熱い言葉を聞きたい。

町長 計画策定の3つのまちづくりの目標。①「協働のまちづくり」の推進。②「活力ある産業振興を図るまちづくり」の推進。③「安全・安心なまちづくり」の推進により町民の大切な生命と財産を守る。人口減少、産業の衰退が顕著で、何をどのように進めるか非常に難しい問題であるが、この3つの視点に基づき策定した。町の更なる発展や協働のまちづくりを基本に据え、「人とまちが響き合う」町民、地域、企業などの持つ活力が連携することによって、新たな活気を創り出す。また、自然豊かな中で暮らす「ところやすらぐ悠紀の郷」誇りの持てるふるさとを創ることをめざして、積極的に取り組んでいく。

一般質問

後発医薬品で医療費抑制 効果あげる「差額通知」 導入3年目で約1,706万円削減



館岡 幸雄
(公明党)

後発医薬品で 医療費抑制

【館岡】 後発医薬品（ジェネリック医薬品）については、

平成21年12月定例会一般質問でとりあげた。健康保険証の更新時に、「ジェネリック医薬品希望カード」を配布し、その普及につとめ、患者の医療費負担の軽減を図るとともに、医療費の抑制と保健会計の健全化を目指していることは評価できる。なお一層の普及啓発が求められている。レセプトの電子データ化、差額通知書の発送をし、促進してはどうか。導入後の医療費削減効果はどのようになっているか。

【町長】 医薬品差額通知については現在、国保連合会との協議をすすめている。調剤の減

額は平成21年と22年の対比で1,258万円。22年と23年

（見込み）で448万円の減額となっている。

野鳥の森、鳥獣保護センターを 中山遺跡と連動させた観光スポットに

【館岡】 先人の残した遺跡、

遺物は当時の人々の「ふれあい」「行動」「生活」「技術」などを如実に伝え、そして発掘された「用具」そのものが我々に語りかけてくれる。次代を担う子供たちのために現

代に生きる我々は、これらの遺跡を大事に保護し、後生に伝える責務を負ってみたい。我が町の古代の歴史、風土が数々の遺跡の発見、発掘により明らかにされるに従い、我が郷土が縄文時代の豊かに発

町長

弘前大学で発掘調査の予定



文化性、環境保護、命の大切さを学ぶ発信基地としての役割が期待される「野鳥の森」

エネルギーの 「地産地消」をめざして

【館岡】 秋田県は、再生可能

エネルギーの普及に向け、上小阿仁村の県営萩形ダムに「小水力発電所」を設置し、2014年春の運転を目指すとされている。「エネルギーの地産地消」へ向け当町はどのような取り組みをしようとしているか。

【町長】 再生可能エネルギーの導入は、まちおこしの材料に成り得る可能性があり、エネルギーの地産地消で防災に強いまちづくりを目指していく。

達した遺跡に囲まれ、その上にあることはかけがえのない誇りであり財産である。

文化性、環境保護、命の大切さを学ぶ発信基地としての役割をはたしながら観光スポットとしてどのような取り組みをしようとしているか。

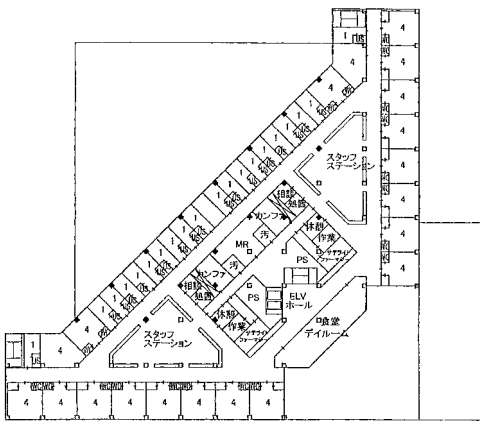
【町長】 今年は、弘前大学の特別研究で発掘調査の予定だ。中山遺跡、岩野山古墳群、環境と文化の村との連携を図り、一体となった事業を検討していく。

湖東病院の医師確保に向け 「医師住宅」を建設しよう！

一般質問

町長

どのような住宅の供給が有効か
調査したい。



病棟階イメージ図

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。



石川 交三
(日本共産党)

町長 「湖東総合病院の医師確保対策を推進する協議会」を設置し、官民一体となり運動を展開している。インターネットで全国に医師募集している。また情報提供もお願いしている。

町長 「湖東総合病院の医師確保対策を推進する協議会」を設置し、官民一体となり運動を展開している。インターネットで全国に医師募集している。また情報提供もお願いしている。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

学校給食食材の 「放射性物質の検査」 が必要だ



元気な子どもたち

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

住宅リフォーム 制度の拡充を

町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

医療費無料化への 大胆な施策展開を 進めよう

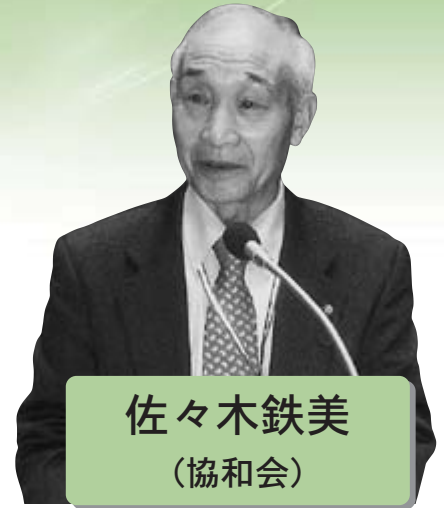
町長 場所の選定や費用の問題もある。既存のアパートや空き家住宅の活用も含め、どのような住宅供給が有効かを調査・検討したい。

新世紀総合発展計画の 達成度は

一般質問

町長

ソフト事業は概ね計画どおり
実施、成果はあった。



佐々木鉄美
(協和会)

「町の将来像」は平成14年～23年まで10年間の新世紀総合発展計画では「想いやりと活力に満ちたふるさと」の創生である。今回の平成24年～33年までの総合発展計画は「人とまちが響き合うところやすらぐ悠紀の郷五城目」となった。

佐々木 過去10年間の計画の達成度は何%と思うか。

町長 厳しい財政状況の中で、全体として計画どおり事業を行うことができた成果はあった。生活・産業・福祉・教育・行財政と各分野で80%位は達成されたと思う。

佐々木 町長は80%達成できたと言っているが、町民アンケート調査報告書の結果では

◎暮らしにくいと感じる理由
(1)医療体制への不安 84.2%
(2)働く場所が少ない 63.9%

(3)町の発展が期待できない 45.7%となっている。
◎町の取り組みに対する評価では、農林業・商工業・観光・雇用機会の拡充については「評価している」が2,923人中1%にも満たない状況である。町長自らの政策がないからではないのか。

人口減少への 歯止め対策は

佐々木 人口の減少は町の発展に一番阻害となっている。町長はこの問題に真剣に取り組む考えは。

町長 人口の減少に伴い10年間で町内の総生産も約2割減少しており、地域経済への影



元気 保育園児

響は非常に大きい。その対策として産業振興支援、定住促進、企業誘致など施策を展開してきたが結果として成果が表れない現状である。

佐々木 平成23年の子供の出生数は50人、死亡者数は152人となっており自然減少数102人となる。総減少数が176人で74人の高校・大学卒の優秀な若い男女が町外へ流出している。

町長 若年層の転出は職業または学業によるものと予想される。町には若い人が勤める会社がなく、採用する企業もないことから秋田市を中心に就職することとなる。雇用の場の確保が最重要課題であり企業立地対策、定住対策、少子化対策を掲げたところである。

佐々木 人口減少歯止め対策として、町営住宅を建設し、民間のアパート経営者に影響しないように、町出身の他町に住む若い夫婦、または町外の若夫婦を募集すると人口も増えるし子供も増える。地場産材で町内業者で建設すれば経済効果もある。町長の考えは。

町長 町営住宅の建設には、建設場所、団地の規模、住宅の大きさ、周辺環境など調査する必要がある。いろいろな角度から総合的に検討していきたい。

県道秋田八郎潟線の 通行再開を！

佐々木 秋田市仁別から北ノ又間は現在通行止めとなっている。町発展のためには通行を再開させ秋田市側との交流が必要である。要望書を提出するだけでなく町長自ら秋田市と協議し、県と交渉したらどうか。

町長 北ノ又地区への観光ルートとして必要性は大きいと認識している。県では平成24年度中に崩落箇所の復旧を行い馬場目岳入口まで通行出来るようにすると伺っている。復旧について県と協議している。

独身男女の結婚促進は

佐々木 人口の減少を止め、町の発展のためにも避けて通れない。結婚問題は特に難しい課題だが町長の考えは。

町長 結婚問題は様々な事情が関与し、複雑でデリケートな問題だが、「出会い」の「きっかけ」づくりが重要と考え、町民と行政の協働により独身男女の「出会いの場」創出に取り組んでいく。

キャス冷凍で産業振興を

一般質問

町長 総合発展計画に盛りこんでいる。



石井 章司
(協和会)

石井 キイチゴの生産が毎年多くなり冷凍庫三基購入しても対応できない。大口購入者から早く引き取ってもらい、会員の冷凍庫をフル活用しながらしのいできた。今年は一層の生産拡大が期待される。

キャス冷凍は組織を壊さず美味しさをそのままとじこめ、世界のどこでも誰からも味わっていただけるすぐれもの。「キイチゴ」だけでなく「学校給食」の食材の加工・保存「ダマコ鍋セット」や「山菜」の加工など幅広く利用できる。

TPPに参加することになれば農業は壊滅的打撃を受けるのは必至で「転ばぬ先の杖」としてキャス冷凍を導入し、足腰の強い農業の育成と産業の振興を図るべきだ。

町長 キイチゴや野菜を鮮度の良い状態で流通でき利点が大きい。

「キャス冷凍」は、従来の冷凍技術と異なり、細胞を傷つけずに瞬間冷凍するので鮮度や食味が高いレベルで保たれる技術。将来的に地場産野菜や山菜などを活用した6次産業の起業に結びつけるためにも必要な加工施設と考え、総合発展計画に盛り込んでいる。

町長 町長は常に夢と希望を与えなければならない

町長 「人とまちが響き合うこころやすらぎ悠紀の郷づくり」を目指す。

石井 10年前策定された「新世紀総合発展計画」や「自立計画」に基づいて行財政運営がなされてきたと思う。

実施途中で町長の交替もあり、目指す町づくりは完全実施されていない。税収不足や地方交付税の削減、職員定数の削減や議員定数の見直しなども予定通り実施できなかった。

過去の計画を検証したと思うがどう活かしたか。

町長 実施できなかった消防庁舎改築事業などは新たな計画に組み入れ、前期5カ年では財政調整基金を取り崩し財



老朽化した消防庁舎

石井 消防庁舎や湖東総合病院、五城目小学校の改築などが予定され、今後一層財政運営が厳しくなる中、来年度の予算は財政調整基金や臨時財政対策債などによって財源を確保しようとしているが、創意工夫により積極的なまちづくりをしなければならない。

町長 平成24年度の目玉事業は企業誘致に全力を注ぐ。

源に充ててきた。

新たな計画では、現計画を継承し更なる発展や協働のまちづくりの考え方を基本に据え「人とまちが響き合う」町民、集落、企業などの持つ活力が連携することによって、

新たな活気を創り出し「こころやすらぎ悠紀の郷」として、誇りのもてるふるさとを創ることをめざす。

成果指標を掲げ第三者による評価を経て確認することとしている。

町長 「総合発展計画」の初年度でもあり、大規模事業を抑制し、地方債の発行も極力抑え、財政健全化を意識した予算とした。

目玉事業としては、企業誘致に全力を注ぎ具体的には、企業誘致戦略基礎調査業務委託料の計上、企業立地に係る企業振興の見直し、市町村サテライトオフィス東京を借上げ、そこを拠点とした積極的な企業誘致活動の展開を予定。

新規事業としては、

- ・青年就農給付金
- ・農業経営テイクオフ支援事業補助金
- ・「秋田で農業を」推進事業など

町単独で支援する事業である。

総合発展計画を策定

総務 常任委員会

人とまちが響きあう
こころやすらぐ悠紀の郷

平成24年度から33年度までの10年間の長期計画。現状の社会情勢を勘案しながら、今後の町のあり方を改めて見つめ直し、目指す方向性を明確化することで町づくりの計画的で着実な実行と地域全体の共有を図ることを目的とする。委員からは、「労働人口の急激な減少や産業の衰退を強く感じる。」「地域農業の組織作りの取組みも必要だ。」「田畑や山林が荒廃し、集落の冠婚葬祭なども厳しくなる。」「若者の雇用、企業誘致への取組みが最重要課題だ。」などの強い意見が出た。

ファミリー広場を廃止

平成8年に設置した野鳥の森の下にある広場が施設の老朽化により、広場としての使用を禁止している。開設当初から排水や暗渠排水処理が悪く、利用者は年々減少しており、遊具も腐食し危険な状態であることから広場設置条例を廃止すべきとした。



野鳥の森 ファミリー広場

23年度補正予算
財政調整基金に2億
3,200万円を積立て

たばこ税は、喫煙者が年々減少しているが、料金の値上がりで税収増となった。町民税は当初、景気の落ち込みで低く抑えたが、結果的には増収となり歳入確保ができたことから2億3,200万円を財政調整基金に積立てた。

当初予算に調査費を計上
企業誘致へ始動

24年度当初予算で企業誘致を促進するための調査費が計上された。

委員 企業誘致のため、400万円のコンサルタント料があるが、認識・考え方はどうか。

当局 コンサルタント業務の内訳は、①立地するための支援メニュー。②適地調査。③雇用人材の調査、などである。

委員からは、「専門家の診断は必要であるが行政・職員・議会が一体とならないと企業は動かない。」「ふるさと会の人脈を活かし、協力に対する報奨制度を真剣に考えると同時に思い切った施策、予算を含めて町全体が一丸となり命がけでやるのが大切だ。」などの強い意見が出された。

(小林 正志)

馬場目小学校を平成25年 4月から五城目小学校に統合

教育民生 常任委員会



平成25年4月から五城目小学校へ統合される馬場目小学校

馬場目小学校は児童数の減少により望ましい学習環境の維持が困難になっていることから、PTA、馬場目地区町内会及び学校評議員の意見を聞き、児童数の推移も勘案し平成25年4月より五城目小学校へ統合することとした。小学校の統合と合わせ保育園についても五城目保育園に統合されることから、通園のための足確保について現行スクールバスの利用も含め検討することとした。

放課後児童健全育成費用が月額5,000円から3,500円に減額となる。
平成14年3月にスタートした本事業の利用者は89名（1年～3年生対象）で好評を博しており一層の充実を求めた。
平成24年度からは会場を「おせど会館」に移しての実施となる。



平成24年度から「わかすぎクラブ」の会場となるおせど会館

わかすぎクラブ

暴力団排除条例を制定

平成23年度7月1日、秋田県暴力団排除条例が全面施行され、その基本理念と目的の一層の浸透、推進を図るため町にあってその責務を明確にし、暴力団を排除することを制度化し、経済の健全な発展に資するため、暴力団と密接な関係を有する者の定規を明確にしながら取り組むことになる。

民生委員

民生委員の欠員原因と活動の在り方に意見が出され、遵守すべき事項、制限される政治的行為について速やかに徹底を図り批判されることのないよう

社会福祉協議会

社会福祉協議会で実施した震災被災地への支援活動の際、反省会と称して飲酒し、他の支援参加者からひんしゅくをかったとの情報があり、担当課で確認したところ、飲酒グループは9名で、県社協1名、湯沢市1名、当町が1名、他は県外メンバーとの報告があった。この支援活動は5月29日から6月3日までの5泊6日の日程で実施されたもので、当時の被災地は支援物資も不十分で、衣・食・住共に困窮している状況であったことを思えば、他の支援活動参加者やボランティア団体に対し、はざかしい事態であったと言わざるを得なく、町長からは、「社会的にみても常識で考えても考えられないことだ。事実関係を調査し、きちつと対応する」との答弁があった。委員会は、厳正な対応を求める意見を総意で付した。

（館岡 幸雄）

老朽化した 西野橋の改修に着手

産業建設 常任委員会



老朽化した西野橋

社会資本整備事業により、完成した町道西野矢場崎線も開通し、以前よりも交通量も増加している。西野橋は老朽化も進み歩行者には、歩道橋もなく大変危険な状態である。

町内の111ある橋の老朽度、路線の重要度を総合的に判断し、優先順位をつけ修繕計画を策定中であり、当初予算に設計委託料910万円計上され、西野橋の改修は25年度着工に向けて大きく前進した。

関連事業として冬期間、地吹雪により吹き溜まりが発生した西野矢場崎線は防雪柵の設置が要望されていたが、2カ年計画で24年度は設計委託料、基礎工事費が予算計上された。



にぎわいを取り戻したい朝市

国民文化祭に「全国朝市サミット」を誘致

国民文化祭は「文化の国体」と言われる。第29回国民文化祭は秋田県に決定、平成26年10月4日から1カ月間の会期で開催される。

当町はこの期間中に「全国朝市サミット」を誘致。

開催に向けて24年度は実行委員会を設立し、先進地視察、事業の内容、運営など準備を進める予定である。

備を進める予定である。

商工振興の主な事業は県・JR東日本と提携して行う大型観光キャンペーンに対応した町のPRなどの事業。

朝市関連では出店者用のテント10張りを購入し、出店者の環境整備を図る。

「農地利用集積円滑化事業」始まる

農業者戸別所得補償制度の新規事業として、農業者の高齢化が進み農作業が厳しくなり、農地を誰かに貸したい貸し手、まとまった農地を借りて経営規模を拡大したい借り手など地域の担い手を仲介する「農地利用集積円滑化事業」の予算が計上された。国、県の交付金は受け手に支払われるが、町単独で出し手に10a当たり5,000円交付されることから農地の集積が促進される。

畑作物の生産拡大支援として戦略作物、給食野菜などに350万円予算化された。

新規就農者など意欲のある農業者を支援する事業であり今後の展開に期待したい。

(伊藤 正春)

湖東病院 隣接地に新築

来年2月に着工

慢性的な赤字と医師不足が続く湖東総合病院について、JA秋田厚生連は2012年度の事業計画案を発表し、来年（13年）2月に立て替え工事に着手する方針を示した。場所は隣に用意した土地で、総事業費は約26億円。14年3月の完成、5月の開院を目指すとしている。

新病院建設地は、用地造成してから10年が経過した隣接する土地で、約2万1480平方メートル。
建設費は総事業費の約70%を占めるが、県が30%、五城目、井川、八郎潟、大潟の4町村が20%を支出。厚生連負担分50%は全額無利子で県が貸し付ける。数億円となる医療機器購入費は、県が全額補助することとなる。

地域住民が待ち望んでいた入院が再開される

2階建てで、病床（ベッド）数は100床。診療科目は総合内科を中心に約10科。医師数は12人程度。回復期リハビリテーションに力を入れて、手術や高度医療は秋田組合総合病院と連携を強化する。

湖東総合病院隣に新築

14年開業目指す 常勤医師県新事業で確保

来年2月 改築着工へ
14年5月開院目指す



皆が望む救急外来は？

新病院は救急室の装備も含めて建設されるが、救急医療が完備するまでは至らず、厚生連では「改築後の医師数では24時間対応は難しい。外来時間外の急患受け入れなど、可能な限り対応したい」（秋田魁報）としている。

医師確保が最重要課題

三者協議（県・地元町村・厚生連）後に、五城目町議会に示された資料では看護師数は66名としているが、医師については「平成24年度からスタートする総合診療・家庭医養成事業による安定的な医師の確保のみならず、総合医の

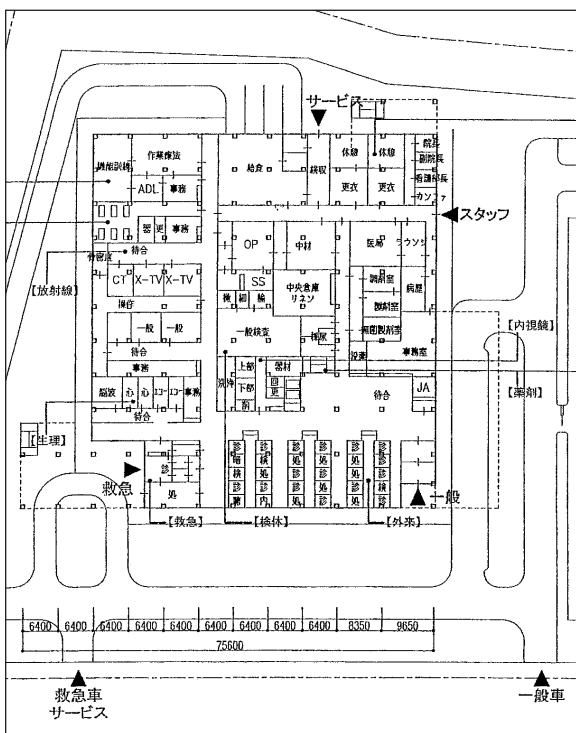
定着化など、常勤

医の確保が最重要課題となる。」としており、医師確保が何よりの課題であることに変わりはない。

議会の動きと

住民の力

五城目町議会はもとより湖東地区の周辺議会は、これまで「湖東病院の早期改築と医師確保を求める意見書」を可決し、県知事に提出。県議会と厚生連にも要望書を提出した。「湖東病院を守ろう！」と住民の会が結成され、署名運



配置イメージ図

これからが正念場

来年の春には新病院建設の槌音が聞こえることになるが、「命を守る」地域の中核としての病院とするためには、前述したように「医師確保」が最重要課題であることは論を待たない。

町民・議会・行政が一体となつての更なる活動展開が強く求められている。

（石川 交三）



請願 陳情

陳情

採 択

◆最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 中村 秀也
秋田県労働組合総連合
議長 佐々木 章

採 択

◆住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書

秋田県労働組合総連合
議長 佐々木 章
秋田県国家公務員連労働組合共闘会議
議長 藤田 哲也

採 択

◆公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情

全日本年寄者組合秋田県本部湖東支部
支部長 土橋 茂

不採 択

◆学校薬剤師報酬改善に関する陳情書

秋田県学校薬剤師会
会 長 佐々木吉幸
秋田中央学校薬剤師会
会 長 近藤 廣樹

続 継 審 査

◆子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める陳情書

日本自治体労働組合連合秋田県本部
中央執行委員長 星野 博之

続 継 審 査

◆拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について

福岡県筑後市長 中村 征一
福岡県大川市長 植木 光治
福岡県大木町長 石川 潤
環境自治体を目指すちっこ委員会
委員長 荒木 フナ

続 継 審 査

◆辺野古への新基地建設・米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書について

秋田県平和委員会
理事長 風間 幸蔵

続 継 審 査

◆米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情

安保破棄諸要求貫徹秋田県実行委員会
事務局長 中田 博

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

提出先

最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める意見書

内閣総理大臣 野田 佳彦
厚生労働大臣 小宮山洋子

提出先

公的年金2・5%の引き下げに反対する意見書

内閣総理大臣 野田 佳彦
厚生労働大臣 小宮山洋子

提出先

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書

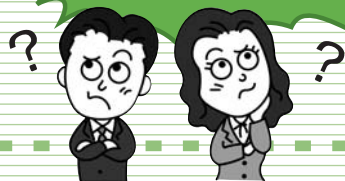
衆議院議長 横路 孝弘
参議院議長 平田 健二
内閣総理大臣 野田 佳彦
総務大臣 川端 達夫
財務大臣 安住 淳



親切がモットー（役場窓口）



あれ



なんとになったべが！

平成23年3月定例会一般質問より

問

湖東病院再生に向け県が示した「総合医育成事業」の評価は？
常勤医確保の実現性があると考えてるか。

答

医師確保の一つの方策であるがスケジュール通り進むか心配される。基本設計図が示されれば改築が具体的に見えてくることから、医師確保や住民の不安解消につながるのではないかと。

現在

医師確保対策の一つとして「総合医育成事業」は期待している。

問

朝市ふれあい館の活用をどう考えているか。

答

朝市と地域資源の情報発信、住民の相互交流、活性化の拠点として文化交流などのコミュニティ活動を支える中核的施設として活用したい。

現在

朝市及び朝市観光客の休憩所として、また地域の集会所として各

問

耕作放棄地対策は？
農業委員会としてどうする？

答

地区の担当委員、農政協力員により場所を特定し、違反転用防止のためのパトロールの強化、町広報による周知を図りたい。

現在

耕作放棄地の全体調査を行なっており、箇所を特定するとともに所有者に連絡、意向調査を実施する。

問

人口減少の歯止め対策はなにか。

答

安定した仕事と所得確保が最重要。産業振興を後押しする施策は「待ったなし」の状況にある。

現在

今年度中に、新定住促進計画を策定し、企業立地や住宅取得等支援、保育や教育環境の整備など、さまざまな施策を展開する。



活用が期待される朝市ふれあい館

いちび たずねて

工藤 静枝さん
(東磯ノ目)



◆ 出店されてから何年になりますか。

工藤 36年か37年になります。

◆ きっかけは何ですか。

工藤 青森の実家でりんごを作っていて秋に持ってきてくれたので売ってみようと始めました。

◆ どんなものを売っていますか。

工藤 季節によって変わりますが果物や山菜、野菜です。果物は三戸の友人から仕入れ山菜は自分でとります。

◆ ここに出店するには何が必要ですか。

工藤 場所代が広さによって違い、私は330円払っています。

◆ はたから見ると大変そうですが。

工藤 仲間やお客様と会話ができて笑ったりする、人となりができるので楽しい。

◆ つらいことはないですか。

工藤 冬が大変です。早く出かけて除雪して自分の場所を作らなければいけないので。

◆ 町の除雪では足りないのですか。

工藤 夜中に除雪されるとさらに大変です。両側に硬く重い雪が残るのでその運搬に疲れます。

◆ 楽しいことは何ですか。

工藤 出店している人たちの組合で、一年に一回日帰りの旅行があつてとても楽しみにしています。

◆ 活性化のためにどうしたらよいと思いますか。

工藤 年を取ると出られなくなるし後継者もない。若い人たちに出てほしいです。

(取材：畑澤洋子)

がんばってます



城東産業(株)
鳥井 麻結 さん
(上樋口)

事務の担当をしています。

仮設資材のリース、販売を行っている会社で、主に電話対応や商品の出庫入力、入庫入力を行っています。入社したての頃は、仕事内容も、流れもほとんど理解しておらずただひたすら教えられた事をメモし、与えられた仕事を一生懸命にこなしていました。今もまだ手探り状態で、時々ミスもしてしましますが、繰り返し作業をしていくうちに仕事内容も少しずつ理解してきました。

先日、社長と面談があり、その中で心に残る言葉がありました。「仮設資材は建

設を行う上で安全に作業ができるように使用される物で、形として残る商品ではない。けれど、建物を建てるにあたって無くてはならない商品である」と話していました。この話を聞いて、会社を創り上げた社長の信念が伝わってきました。私は改めてこの会社を選んで良かったと思いました。私を採用して下さった事に感謝しています。先輩の方々も丁寧に仕事を教えて下さるので、私も日々新しい事を吸収し、一日も早く即戦力となつて働けるように頑張りたいと思います。

五城目町の一町民として、地域に貢献できるよう、努力していきます。

(取材・写真：佐藤慶彦)

編集

後記



任期満了に伴い、3月25日に執行された町議会議員一般選挙で初当選した5名の新人議員は各常任委員会に所属。同時に全員が広報編集委員に選任されました。

先輩議員から「新人は広報を担当することが前例。議会の勉強になる。」との助言があり、「みんなの町議会」No.110号の編集に初めて携わりました。

これまでは一読者の立場でありましたが、今度は編集者となり、議会と町民の皆様との「懸け橋の役割」を担う重責を痛感しております。今後は新しい視点も盛り込んだ広報編集を心がけてまいりたいと願っております。町民の皆様のご愛読を宜しくお願い申し上げます。

広報編集委員長

佐々木仁茂 記